

協会だより

植物調節剤の開発事業に係わる試験研究課題の募集

当協会では、植物調節剤の有効利用及び作物・雑草の生理・生態の解明を目的とした共同研究の一環として、大学、国立研究開発法人、都道府県の試験研究機関に試験研究を委託しています。

平成30年度「植物調節剤の研究開発事業に係わる試験研究課題」は、以下の要領で募集します。

1. 対象試験研究課題

除草剤、生育調節剤等の有効利用及び作物・雑草の生理・生態の解明に関わる課題とする。

2. 対象者

都道府県試験研究機関、大学、国立研究開発法人、民間企業等関係者とする。

3. 期間

原則として1事業年度（4月1日～翌年3月31日）とする。

4. 試験研究費

原則として1課題当たり100万円（税込み）を上限とする。

5. 応募方法

当協会理事長宛に申し込み文書及び試験研究実施計画書を提出する。

6. 審査方法

書面審査により採択課題を決定する。併せてヒアリング審査を実施する場合もある。

7. 成果の報告

試験研究の成果は当該年度末までに当協会理事長宛に提出する。また、「植調」誌に記事を寄稿する。

8. 申込み期限

平成30年3月末日

9. 宛先：総務部 企画課 村岡哲郎

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6

TEL 03-3832-4188 FAX 03-3833-1807

E-mail: muraoka@japr.or.jp

必要書類 申し込み文書、試験研究実施計画書

研究会等

第13回除草剤抵抗性雑草研究会「外来雑草の侵入と防除」

日時：平成30年2月3日（土）13:00～18:00

場所：京都大学北部構内農学生命科学研究棟1Fセミナー室

講演内容：

農耕地における難防除外来雑草の侵入・分布拡大メカニズム

黒川 俊二（農研機構 中央農業研究センター）

都市河川におけるアブラナ属植物の分布と生態

中山祐一郎（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科）

輸入穀物に混入する除草剤抵抗性ライグラスの港における定着状況

下野 嘉子（京都大学 農学研究科）

除草剤を用いた外来雑草の防除について

村岡 哲郎（日本植物調節剤研究協会）

総合討論、まとめ

参加申込み：富永 達（京都大学 農学研究科）

tominaga@kais.kyoto-u.ac.jp

参加費は無料です。

※研究会は日本雑草学会の補助を受け開催しますが、日本雑草学会会員以外の方の参加も歓迎します。

植調第51巻 第10号

■発行 平成30年1月18日

■編集・発行 公益財団法人日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
TEL (03)3832-4188 FAX (03)3833-1807

■発行人 宮下 清貴

■印刷 (有)ネットワン

© Japan Association for Advancement of Phyto-Regulators (JAPR) 2016

取 扱 株式会社全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6（植調会館）

TEL (03)3833-1821